

令和5年度 第2回 大和市地域公共交通協議会分科会（中央林間駅まち会議）会議録（要約）

日 時：令和6年3月21日(木) 15:00～16:00

場 所：大和市市民交流拠点ポラリス Room 3

出席者：別紙1のとおり

＊6名の委員のうち5名（代理人含む）の出席があり、会議は成立と認める
（大和市地域公共交通協議会分科会設置規程第5条第2項）。

議題

小田急中央林間駅総合改善事業について

- ①小田急中央林間駅整備計画の変更について
 - ②工事予定（令和6年度）および現在の状況
-

議事

○小田急中央林間駅整備計画を変更することを承認する。（出席の委員全員が承認）

質疑及び回答

○別紙2のとおり

別紙1（出席者）

	所 属	委員	備考
委員 (会長)	大和市街づくり総務課長	石井 信治	
委員	小田急電鉄株式会社 工務部 課長	山野 泰弘	【代理】 工務技術センター 統括所長 鈴木 武幸 (随行) 工務技術センター 技士長 平川 哲也
委員	東急電鉄株式会社 経営戦略部 総括課長	五島 雄一郎	(ご欠席)
委員	国土交通省 関東運輸局 鉄道部 計画課長	駒形 洋介	(随行) 鉄道部 計画課 主任調査員 田中 励起
委員	神奈川県警察大和警察署 交通第一課長	山ノ内 浩介	
委員	大和市道路安全対策課長	安見 昌幸	

別紙 2（質疑及び回答）

小田急中央林間駅総合改善事業について	
①小田急中央林間駅整備計画の変更について	
確認・質問事項	回答（事業者・事務局）
費用便益への影響として考慮しているゾーンニングとはなにか？	町丁目などで別れたゾーンである。
下りホームの拡幅について、現況が 1.8m 変更計画での拡幅が 2.1m と記載があるが可動式ホーム柵整備後の幅員は、この 2.1 m よりも小さくなるのか。	ホーム幅については、可動式ホーム柵設置後の有効幅員であり整備完了後に 2.1 m となる予定である。
小田急中央林間駅総合改善事業について	
②工事予定（令和 6 年度）および現在の状況	
令和 6 年度末までの工事予定ではあるが、実施工に関しては一定の余裕はあるのか。	一定程度の余裕はみており、予定通りの完了に向け、工程管理を行っていく。
上りホームについてホーム拡幅通路の供用開始と可動式ホーム柵の供用開始については同時期の方が良いのではないか。	可動式ホーム柵の供用開始予定は 2 月となっているが、可動式ホーム柵の筐体は供用開始の約 2 か月前には設置し、配線や動作確認などの行い供用開始をする。稼働前から筐体が設置されていることから利用者の方には認識頂ける形となる。上りホーム拡幅通路の供用開始時期については現在調整中であるが、可能な限りホームドア工事に合わせて供用開始できるよう調整する。また、旅客動線については、駅部門とも適時調整を行うなど対応をしたい。